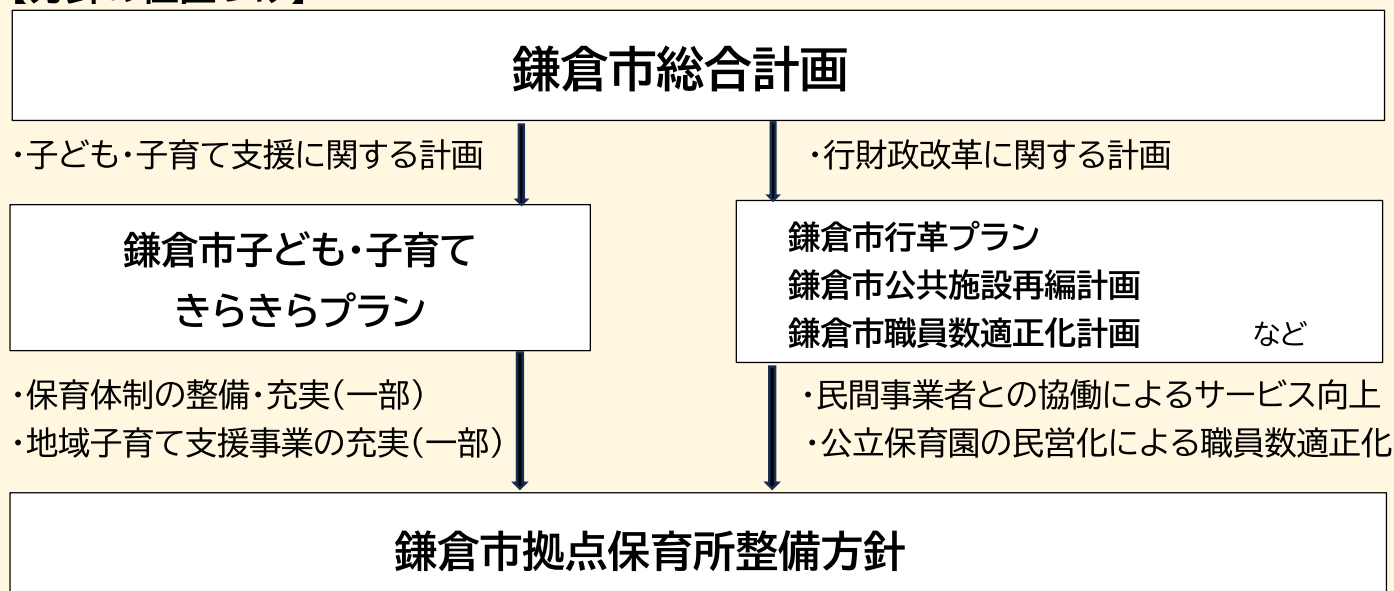


# 鎌倉市立保育園の

## 民営化と拠点保育所

鎌倉市は「鎌倉市子供・子育てきらきらプラン」と行財政改革に関する計画から、鎌倉市立保育園の運営を民間に移管するとともに、鎌倉の5行政地域(鎌倉、深沢、腰越、大船、玉縄)に拠点保育所の整備を進めてきた。

### 【方針の位置づけ】



鎌倉市拠点保育所整備方針(平成 30 年5月鎌倉市こどもみらい部)より転記

1966年から80年にかけて開園した9ヶ所の市立保育園のうち2保育園(寺分、山崎)は民営化され、平島保育園はすでに閉園している。材木座、稲瀬川両保育園は鎌倉地域拠点保育所の市立由比ガ浜保育園に統合され、腰越保育園は公私連携型の民営化された拠点保育所になった。今後大船保育園も同様になる予定。

**拠点保育所**とは、鎌倉の5行政地域に公立保育園をそれぞれ1園配置し、そこを拠点保育所として位置づけ、公立保育園独自の保育や、地域の子育て支援事業などの充実を図っていかうとするものである。

**公私連携型保育所**とは、適正な運営が行われるよう人員配置や提供する保育、及び子育て支援事業に市と運営委託者が相互に関与しながら運営する保育所である。

